鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）発行

伊集院保健所感染症情報

2026年第44週（令和8年10月26日～令和8年11月1日）

【お問い合わせ先】　〒899-2501　鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1　鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
TEL（099）273-2332 ／ FAX　（099）272-5674 ／　E-mail　kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
鹿児島地域振興局　URL　http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令中：インフルエンザ

管内流行発生警報発令！：水痘

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科１、基幹定点１】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第41週	第42週	第43週	第44週	先週からの増減	第43週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	83.00	100.50	99.50	98.50	↘	58.49	↗
インフルエンザ	30	10	10	15.50	12.00	20.50	21.00	↗	11.74	↗
COVID-19	−	−	−	0.50	0.50	0.00	0.00	→	0.25	↘
咽頭結膜熱	3	1	−	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.65	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	−	7.00	5.00	4.00	3.00	↘	1.61	↘
感染性胃腸炎	20	12	−	1.00	5.00	7.00	1.00	↘	5.68	↗
水痘	2	1	1	**2.00**	0.00	0.00	**2.00**	↗	0.06	↗
手足口病	5	2	−	**2.00**	**3.00**	0.00	2.00	↗	0.55	↗
伝染性紅斑	2	1	−	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
突発性発しん	−	−	−	0.00	2.00	0.00	0.00	→	0.32	↘
ヘルパンギーナ	6	2	−	**5.00**	**5.00**	1.00	1.00	→	0.84	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
ＲＳウイルス感染症	−	−	−	3.00	1.00	6.00	2.00	↘	0.97	↗

※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし、　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC　　11 月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です。

薬剤耐性（AMR：Antimicrobial Resistance）とは、本来であれば効果があるはずの抗菌薬が、感染症の原因となる細菌に効きにくくなる、または、効かなくなることです。薬剤耐性（AMR）に関する全国的な普及啓発活動を推進するため、毎年 11 月を「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」に設定しています。

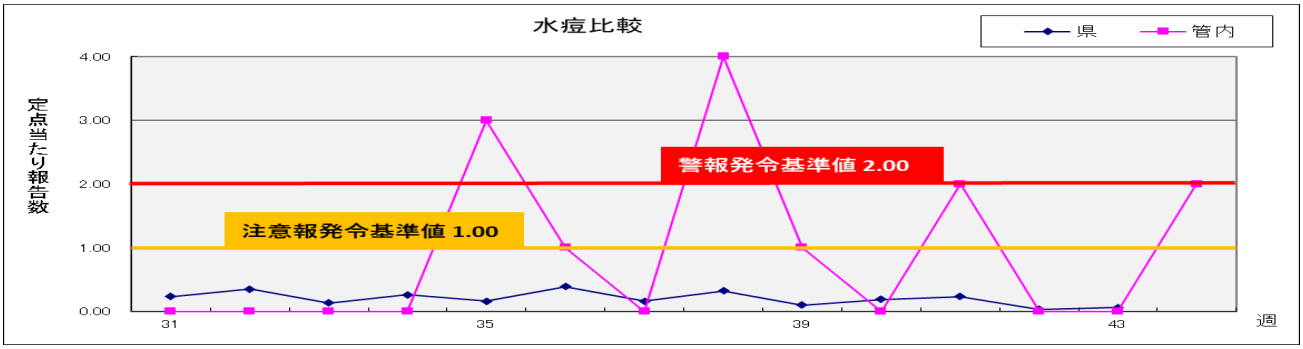
「薬剤耐性（AMR）対策推進月間」では、政府機関だけではなく、医療、介護、畜水産、獣医療等の民間の様々な団体が一体となって、普及啓発に関する取組を重点的に実施していくとともに、同月間を通じて国民一人ひとりの主体的な取組を促していくこととしています。

AMR に対して、このまま何も対策がとられないと、2050 年には全世界で AMR 関連の死亡者数は毎年 1,000 万人に上り、がんによる死亡者数を上回ると言われています。薬剤耐性菌のまん延を防ぐには、国民の皆様の理解の増進が重要です。

※詳細はこちら
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120172.html

注意すべき感染症

・水痘（流行発生警報発令！）



第 44 週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、２人でした。年齢別では、９歳（１人）、10～19歳（1 人）でした。

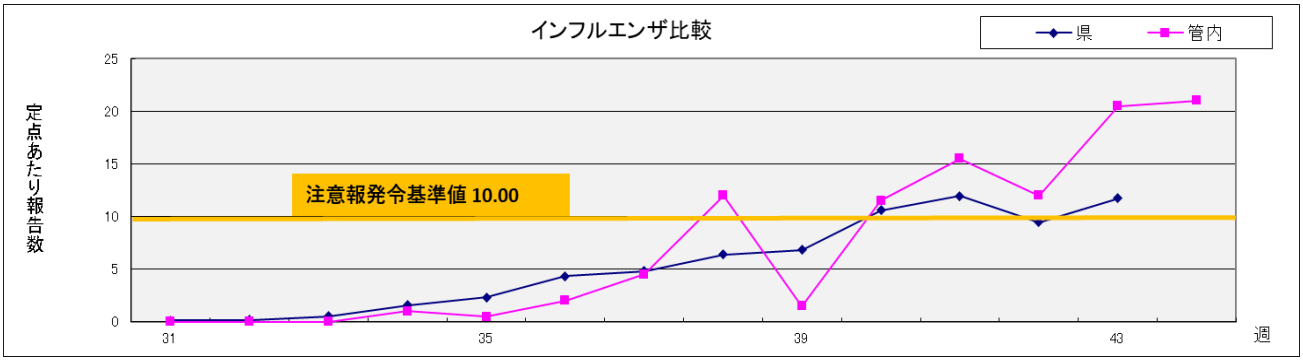
水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から２週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。

臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が 2～３日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する１～２日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

・インフルエンザ（流行発生注意報発令中）



第 44 週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、42 人（定点当たり 21.00）でした。

年齢別では、10～14 歳（15 人）、８歳（６人）、７歳（５人）、６歳（４人）、２歳・４歳・５歳・９歳（各２人）、6～11 ヶ月・15～19 歳・20～29 歳・30～39 歳（各１人）でした。

インフルエンザは、発症すると 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防方法としては、普段から流水と石けんによる手洗いや、ワクチン接種をすること、咳が出る場合は、「咳エチケット」をすること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

○学校における感染症による出席停止の状況 10/26～11/1（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが 46 人（型不明 17 人、A 型 29 人）、水痘が２人報告されています。

疾患名 / 自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	水痘（みずぼうそう）
日置市	5	15	2
いちき串木野市	8	14	0
三島村	0	0	0
十島村	4	0	0
計	17	29	2